

篠山市立篠山養護学校 担当教科：総合的な学習 椎名 玉青

■実践教科：総合的な学習の時間
■対象学年：中学1年生／中学3年生

■指導時数：全6時間
■対象人数：2人／2人

◆教師海外研修を通して感じたこと

『志を高く持って取り組む姿勢は人を勇気付ける』
どんな環境にあっても、自らの意志を強く持つことで、道は開くという希望を強くしました。
小さな夢でも、大きな夢でも、いい。
子どもの間に志を有し、取り組める環境へと飛び込めたら、より充実した日々が訪れると。
「夢を持ち続けられる土壤を、作りたい。」
教員として大切にしたい柱が、また少しあつけられました。

教師海外研修に参加して私は、ココが変わった！

BEFORE

日本という国について、国内の実態を見つめれば見えてくると、どこかで思っていた。

- ◆自閉的な傾向にある子どもが多くいる特別支援学校(養護学校)での総合的な学習の時間。
- 海外へ目を向けた内容について、消極的であった。
- ◆まず自分が知りたいという気持ちが強かった。

AFTER

授業プランを考える上で、「日本と外国を比べてみれば、国内の実態が見えてくるのではないか」と思えるようになった。

- ◆「実際に見聞きしたことを、とにかく伝えてみよう。」と、撮った動画や写真を使って授業する気持ちが湧いた。
- ◆知り得たことを伝え、何かを感じて欲しいと素直に思えた。

授業の詳細

1. カリキュラム

(1) 実践の目的/背景

ここ数十年で大きく変わってきた日本の生活。その中にあり、自然に囲まれ、昔からの暮らししが色濃く残る篠山。都会とは違い、ゆったりとした時間が流れしており、外に目を向けたり比べたりする機会が少ないと感じる。暮らす中で当たり前に思っていることが、実は財産かもしれない。逆も然りである。この単元を通して、今、目の前にあるものについて気付きをもって欲しいと願って以下の目的を設定し、授業を組み立てた。

- 外国の様子を知ることで、視野を広げる。
- 環境や暮らしについて、自ら考える。
- 自分たちの暮らしについて見つめ直すことにより、気づいたことを表現する。

(2) 授業の構成

時限・テーマ・ねらい	方法・内容(子どもの活動)	使用教材
1時限目 ベトナムの様子に触れよう	<ul style="list-style-type: none">・外国の名前を発表する・ベトナムについて知っていることを発表する・ベトナムの様子を見る・感想を伝える	<ul style="list-style-type: none">・ベトナムの動画・ベトナムの写真
2時限目 ベトナムの暮らしについて考えよう①	<ul style="list-style-type: none">・印象に残った写真を選ぶ・選んだ理由を考えてワークシートに書く・理由を伝えながら選んだ写真を紹介する・友だちの発表へ感想を伝える	<ul style="list-style-type: none">・ワークシート・パソコン (1人1台ずつ)・写真を入れたCD-R (1人1枚ずつ)
3時限目 ベトナムの暮らしについて考えよう②	<ul style="list-style-type: none">・「嬉しい」「困る」写真を選ぶ・選んだ理由を考えてワークシートに書く・理由を伝えながら選んだ写真を紹介する・友だちの発表へ感想を伝える・次時への見通しを持つ	<ul style="list-style-type: none">・ワークシート・パソコン (1人1台ずつ)・写真を入れたCD-R (1人1枚ずつ)
4時限目 自分たちの暮らしを見つめよう	<ul style="list-style-type: none">・篠山での暮らしを表す写真の中から「嬉しい」「困る」ものを選ぶ・選んだ理由を考えてワークシートに書く・理由を伝えながら選んだ写真を紹介する・友だちの発表へ感想を伝える・次時への見通しを持つ	<ul style="list-style-type: none">・パソコン・写真集
5時限目 学習したこと伝えるために工夫しよう	<ul style="list-style-type: none">・互いの役割を知る・原稿を読み合わせる・原案に改善点がないかどうか意見交換する・より良いものにできるよう練習する	<ul style="list-style-type: none">・発表原稿(原案)
6時限目 学習したことささよう発表会で伝えよう	<ul style="list-style-type: none">・中学部の発表を通して観客に伝える	

2. 授業の詳細

1時限目 「ベトナムの様子に触れよう」

■目標

ベトナムについて知る。

■内容

①知っている外国の名前を発表し世界へ目を向ける。

◎生徒の反応

『アメリカ』『オーストラリア』『インド』『中国』『ロシア』など

②ベトナムについて知っていることの発表を通じてベトナムという国について想像する。

◎生徒の反応

『フォー』『自転車』『アジア』『暖かい』

③ベトナムの様子を見る。〈動画・写真〉

<ココがポイント>

映像を通して、視覚的にも聴覚的にも訴えかけることができ、様々な実態を持つ本校の子どもたちが関心を持ちやすい。中学部 14 人を集めた場で、大型テレビを使い、映し出した。



ベトナムにもあるんだ！

④感想を伝える。

■生徒の感想

- ◆ベトナムにも養護学校(特別支援学校)のようなところがあると知り、驚いた。
- ◆カエルを食べるんだ！
- ◆食べ物が美味しいぞ。
- ◆ドラえもんやちびまる子ちゃんは、ベトナムでも人気があるんだ！
- ◆バイクが多いなあ。



書店で見つけた 世界の人気者



うわっ！魚だ～！！



もしかして、トイレ？

2時間目 「ベトナムの暮らしについて考えよう①」

■目標

ベトナムの暮らしについて自分の感想を持つ。

■内容

- ①ベトナムの写真から一番印象に残った写真を選ぶ。

<ココがポイント>

生徒一人ひとりに配る CD-R には、適当な数に選んだ写真をグループごとに分けて入れた。名前を付けグループ分けすることで、中身が何かをある程度予想できるとともに、一通り見た後で振り返る時に分かりやすい。また、自閉的な傾向を持つ生徒を 3 名対象としており、見通しを持たせるための工夫もある。

パソコン操作技術には、かなりの個人差がある。TT として 3 人の先生に対応してもらい、必要な際に支援してもらった。



どんな写真があるかな。



理由を考えて、と。

- ②写真を選んだ理由を考えワークシートに書く。

<ココがポイント>

字の習熟度や学習能力にも個人差がある。ワークシートは、ルビ有りとルビ無し、二種類用意した。また、一人の生徒はワープロを使いこなすことができるので、データへの直接入力も選択肢に入れた。

○生徒の選んだ写真とその理由



写真①

①「いちごの
かき氷
きれいだから」



写真②

②「映画館の写真
(映画館あるんだ!)」



写真③

③「横断歩道の標識？」
日本とちがう標識は
一体どんな意味なのか
知りたいから。



写真④

④「何やろ？」家の
何かに使うのかな
と気になった。

◎生徒の意見交換

〈写真③について〉

A:『道路のそばに目立つようにあるから、標識だとは思うんだけど、横断歩道の標識かなあ。』

B:「そやなあ。渡っているように見えるわ、確かに。」

A:『でも、本当にそうなのかどうか、気になるなあ。』 C, D の生徒も写真を覗き込んで考える様子。

〈写真④について〉

B:「長さが揃っているから、食べるために干してあるんじゃなさそう。」

「家で使うものだろうけれど、火を点けるために使うのかな？」

A:『動物のためじゃない？敷いたり餌にしたりするんじゃないかな？』 B:「そうかなあ？」

(C, D の生徒も「動物かなあ」という表情を見せる。←モーハイ村の写真に動物があつたからか？)

B:「やっぱり家やな。家を作ることに関係するんちゃうかなあ。』 A:『う～ん、まあ、そうかもね。』

～ここで、時間切れ。結論は持ち越し。



写真③を見ながら意見交換



これ、かき氷？フルーツの種類が多いね。

【以下は今後実施予定の学習内容】

3時限目 「ベトナムの暮らしについて考えよう②」

■目標

ベトナムの暮らしについて自分の考えを持ち、友だちに伝える。

■内容

①ベトナムの写真から「嬉しい」「困る」と思う場面の写真を選ぶ。

※自分がベトナムで生活しているとしたら、どの写真が「嬉しい・楽しい・幸せ」な場面か、「困る・寂しい・悲しい」場面か、考えて選ぶ。

②選んだ理由を考えてワークシートに書く。

③理由を伝えながら選んだ写真を紹介する。

※できるのであれば、写真はどんな場面か想像し、説明しつつ理由を伝える。

④友だちの発表へ感想を伝える。

※友だちの考えに対して感想や意見があれば伝える。

⑤次時への見通しを持つ。

※自分たちの暮らしについて見つめ直すことについて知る。

4時限目 「自分たちの暮らしを見つめよう」

■目標

篠山での暮らしについて見つめ直し、気付きを得る。

■内容

①篠山での暮らしを表す写真の中から「嬉しい」「困る」ものを選ぶ

※市のホームページや写真集などから見出す。

※どの場面が「嬉しい・楽しい・幸せ」なのか、「困る・寂しい・悲しい」なのか、普段の暮らしについて改めて考える。

②選んだ理由を考えてワークシートに書く

③理由を伝えながら選んだ写真を紹介する

④友だちの発表へ感想を伝える

※友だちの考えに対して感想や意見があれば伝え、自分の考えを、よりはつきりさせる。

※対比できそあれば、ベトナムの暮らしと比べる。

⑤次時への見通しを持つ

※ささよう発表会で伝えることについて知る。

パソコンで写真を選んだのは初めて。



5時限目 「学習したことを伝えるために工夫しよう」

■目標

伝えたいことがはつきりするように考えを伝える。

■内容

①互いの役割を知る

②原稿を読み合わせる

③原案に改善点がないかどうか意見交換する

④より良いものにできるよう練習する

⑤次時への見通しを持つ

※ささよう発表会での目標を持つ。



ぼくは
得意の英語で
伝えようか

6時限目 「学習したことをささよう発表会で伝えよう」

■目標

相手を意識して自分らしく伝える。

■内容

○中学部の発表を通して観客に伝える

◎所感

子どもの視点は様々で「こんなことに関心を持つんだ。」という新たな発見があった。見たことのない場面に関心を持つ子ども、見慣れた物を見出してほっとする子ども、色鮮やかな数々のフルーツに目を奪われる子ども、それぞれが関心を持つ分野から写真を選んでいた。テレビやインターネットを通じて情報をすぐ得られるようになった現在でも、「先生が行ってきた外国の情景」となると現実味を帯びるようで、主体的に関わる姿を見て安堵した。

3. 成果と課題

「見聞を広める」という言葉をこれほどまでに意識した研修は体験したことがない、と言えるほどのベトナムでの時間。国について、国と国との繋がりについて、自分の中に見えてきたものを少しでも伝えたいという思いを持ち、子どもたちと向き合った。核としたのは「暮らしに目を向ける」こと。環境が違えば暮らし方は変わってくる。「何?」「誰?」「良いの?」「悪いの?」、どんなことでも構ないので、何か疑問を持って学習に取り組んで欲しいという意図を持って授業をした。学習中に見られた「これは何?」とベトナムの様子に質問する姿。そして、友だちと意見を伝え合う姿。子どもの数が少なく、実態が様々である本校では、集団の中で意見を伝え合い、学習を進める場が少ない。今回、友だちの考えを聞き、自分の考えと比べたり、感想を持ったりしたことは、良い経験になったと考える。また、目の前ないものへ主体的に関わっていくことは難しいが、写真などの具体物や体験談により、子ども達が関心を持って学習に取り組めたことは成果だと感じている。

今回の取組を通して可能性を限ることなく授業内容を考えていくことの大切さを痛感した。今後も、対象となる子どもたちの実態を考慮した上で、幅広い選択肢の中から内容を鑑み、授業を組み立てていきたい。そのために、私自身の引き出しを充実させられるよう、機会を作っていくたい。



参考資料 ワークシート

ベトナムの暮らしについて 考えよう

名前()

①ベトナムの写真(6グループ)から1番印象に残る写真を選び、簡単な理由とともに

に発表しよう。

写真()

理由()

②自分がベトナムで生活しているとしたら、どの写真が「嬉しい・楽しい・幸せ」な

場面か、「困る・寂しい・悲しい」場面か、考えて選ぼう。

「嬉しい」写真

()
理由

「困る」写真

()
理由